

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	保育課長	松本 広
こども-16	重点事業	私立保育所等整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 保育課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針	子育て支援施設の整備

1 事業の目的

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

対象	私立保育所等を運営する法人	<ul style="list-style-type: none"> 御成町在宅福祉サービスセンター等の維持管理を行った。 玉縄地域の待機児童対策として、フラワーセンター大船植物園本園苗ほ跡地を賃借した。 鎌倉地域の待機児童対策として、旧横浜地方務局鎌倉出張所庁舎及び跡地を賃借した。 保育所の新設及び改修費等の施設整備費に対して補助金を交付した。
意図	市内の私立保育所の整備等に対し補助を行い待機児童の解消等を図るため。	
効果	待機児童の解消や子どもを安心して育てることができる体制整備を図る。	

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	世帯数	83,058世帯	
	事業の対象者数			事業の対象者数	
運営資源状況	決算値(千円)	200,117	655,720	当初予算(千円)	513,456
	国県支出金	110,344	567,265	国県支出金	270,207
	地方債			地方債	80,000
	その他	4,036	16,609	その他	22,821
	一般財源	85,737	71,846	一般財源	140,428
事業経費運営	人員配置数	1.5	1.5	人員配置数	1.5
	人件費(千円)	11,708	12,072	人件費(千円)	12,079
	総事業費(千円)	211,825	667,792	総事業費(千円)	525,535
	市民1人当りの経費(円)	1,201	3,785	市民1人当りの経費(円)	2,976
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか △.協働未実施 △-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
	事業内容・予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する
総評(評価に対する考え方、根拠等)	待機児童対策のため、今後も効果的な対応を推進していく。	

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	待機児童対策のため、保育所を設置する事業者に対し補助を行う必要がある。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	待機児童対策のため、保育所を設置する事業者に対し、整備費に係る補助金を交付した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	引き続き、待機児童対策の推進及び保育に係る供給水準の維持のため、施設老朽化に伴う建替え事業等に対し補助を行う必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	待機児童数(平成31年4月1日現在)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	三浦市	葉山町	横浜市	川崎市	横須賀市
他市実績	78人	164人	5人	22人	0人	52人	46人	14人	70人

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	本事業は、保育所経営の健全化及び待機児童解消を目的としており、前者については定性的要素が強いため、後者で他市比較を行った。待機児童数は、その地域の様々な要因により形成されるもので、数値のみをもって単純に比較できるものではないが、結果としては三浦市で待機児童解消は達成されたものの、いまだ待機児童は多く発生しており、更なる待機児童対策を要する。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	待機児童数(各年度4月1日現在)						単位	人	指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	平成30年度より待機児童の算出方法が変わり、潜在的待機児童が待機児童としてカウントされることとなったため、目標値の下方修正を行っている。		
保育を必要とするすべての就学前児童を保育することが求められているため。	目標値	5	3	1	0	30	15			
	実績値	55	50	44	47	93	78			
	達成率	9.1%	6.0%	2.3%	0.0%	32.3%	19.2%			

指標の内容	入所児童数(各年度4月1日現在)						単位	人	指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	待機児童数から算出した目標値に向け、施設整備を進めており、入所児童数の目標は概ね達成しているが、それを上回る新たな保育希望が発生している。		
保育を必要とするすべての就学前児童を保育することが求められているため。	目標値	—	2,578	2,499	2,411	2,791	2,825			
	実績値	2,241	2,404	2,434	2,438	2,535	2,641			
	達成率	—	93.3%	97.4%	101.1%	90.8%	93.5%			

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	保育を必要とするすべての就学前児童を保育することができるよう、保育施設的环境整備を図る。
-----------------------	--